

日頃より、相模鉄道本線（星川駅～天王町駅）連続立体交差事業にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。今回は現在までの工事進捗状況と星川第2架道橋の桁の架設についてお知らせします。

本設高架橋の構築について

本設高架橋の橋脚、星川駅部の鉄骨架設、3階乗降ホーム階のスラブ架設工事が進んでいます。

天王町1号踏切付近から星川6号踏切付近にかけて、下り線を高架化するための鉄道本体構造物の施工が進んでいます。（写真-①、②参照）

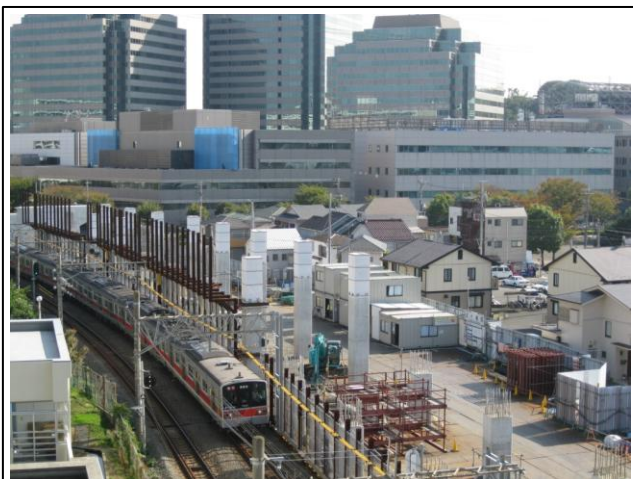


写真-① 天王町2号～3号踏切間橋脚施工状況
（海老名方から横浜方を望む）



写真-② 星川2号踏切付近橋脚施工状況
（海老名方から横浜方を望む）

星川駅部においては、下り線側約300mの範囲において鉄骨架設工事が進んでいます。（写真-③参照）高架橋本体の架設はほぼ完了し、現在、鉄骨の現場塗装、溶接、ボルト本締めおよび高架橋どうしをつなぐ鋼桁の架設を行っています。平成24年3月頃には下り線側の架設が完了する予定です。

中央部仮駅舎の横浜方においては3階乗降ホーム階のスラブ（床面）の架設を進めており、今後も順次架設を進めていく予定です。



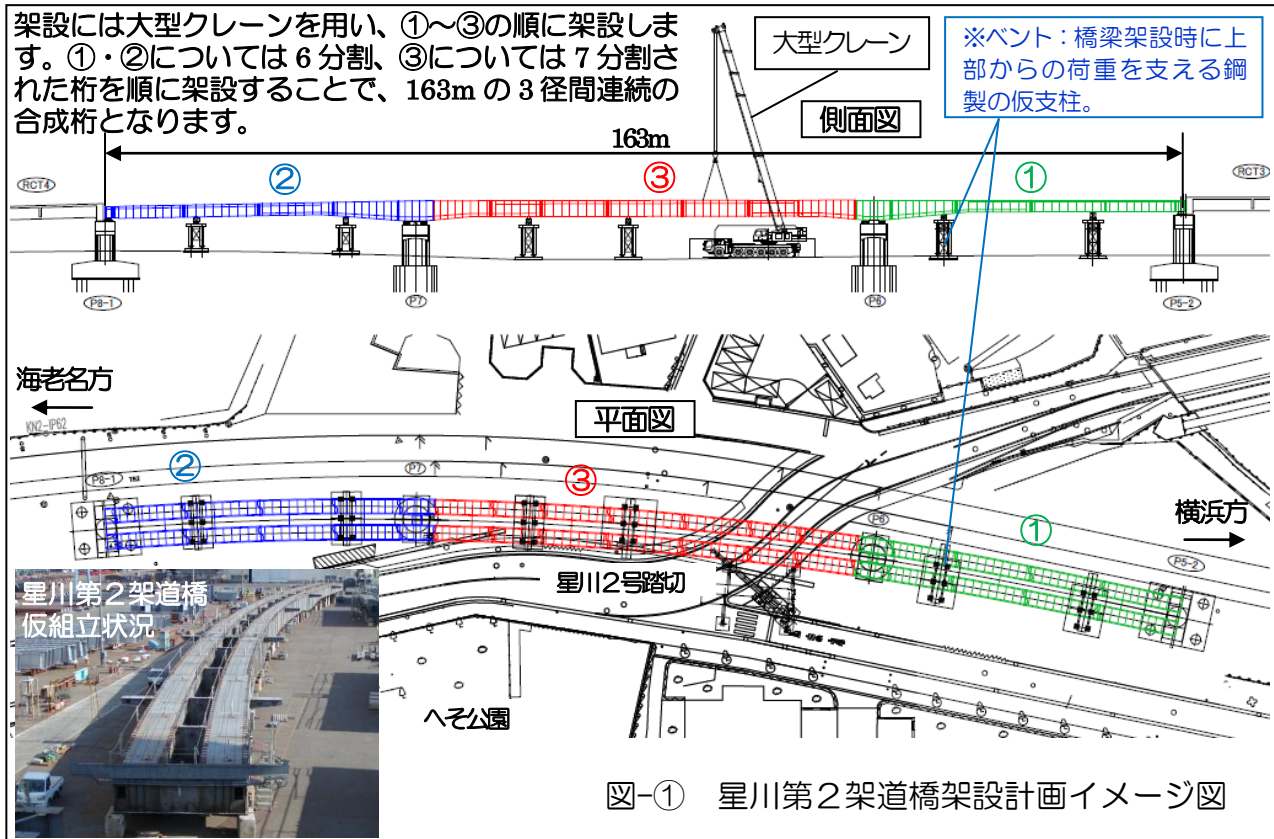
写真-③ 星川駅鉄骨架設、3階乗降ホーム階スラブ架設状況
（南側から北側を望む）

星川第2架道橋の桁の架設について

星川第2架道橋の桁の架設が始まります。

星川2号踏切上部にかかる星川第2架道橋は、全長約163mで2本の橋脚をまたぐ3径間連続合成桁※となり、桁の製作は工場で行いました。桁架設は平成24年1月下旬頃からの予定で、現在、現地では架設に伴う準備工事として**ベント**※基礎の設置、組立てを行っています。(図-①参照)

※合成桁：鉄とコンクリートの複合構造で施工性に優れ、鋼材(引っぱりに強い)とコンクリート(圧縮に強い)の長所を併せもつ構造の桁。
 連続桁：連続構造とすることで施工性・経済性に優れかつ桁の厚さを薄くすることができ景観的にも優れた構造の桁。



～お知らせ～

星天ニュースは横浜市のホームページでダウンロードすることができます。

横浜市 星天ニュース

連続立体交差事業に関する「現在の工事状況」や「お知らせ」は相模鉄道株のホームページでご覧いただけます。

相鉄 連続立体交差工事

～お問合せ～

- 事業に関するお問合せ……横浜市 道路局 計画調整部 企画課 鉄道交差調整担当
Tel 045 (671) 2792
- 工事に関するお問合せ……相模鉄道株式会社 星川・天王町駅付近連続立体交差工事事務所
Tel 045 (335) 6733